

2024 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 A 日程

専門科目試験問題

注意事項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 応用言語学に関する小論文は全員が解答してください。
- 3 日本語に関する専門知識・英語に関する専門知識・中国語に関する専門知識は、1 題を選択して解答してください。

2024年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/1

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	応用言語学に関する小論文

問題1. 次の問いに答えなさい。(この問題については必ず答えること。)

あなたが本大学院(応用言語学研究科)において、取り組もうとしている研究分野についての内容を詳しく述べてください。(その研究分野における代表的なものと考えられることがらなども含め、研究の内容、その研究についての動向などを具体的な例を挙げて詳しく述べなさい。)

問題2. (1)から(8)まで1問を選択し、解答しなさい。

(1)「言文一致体」における文体の生成と特徴を、具体的な例を挙げて述べなさい。

(2) 上位語と下位語の関係について、例を用いて詳述しなさい。

(3) 辞書の記述とその問題点について述べなさい。

(4) 言語学における構成素(Constituent)の重要性を、具体例を使いながら述べなさい。

(5) 日本社会において、「方言コンプレックス」から「方言prestige」へと方言意識が変化しつつあることについて述べなさい。

(6) 映画化された文学作品の例を挙げ、文学作品の映画化について述べなさい。

(7) 「膠着語」「屈折語」「孤立語」とは何か、日本語、英語、中国語などの具体的な例を挙げ、その特徴を説明しなさい。

(8) Brown and Levinson(1987)によって提唱されたポライトネス理論について述べなさい。